

《青春の歌》 高校生 入選作品

誕生日主役がゆっくり腰かけて八十回目の宴始まる

東京都 学習院女子高等科 横尾 遥

新卒の兄のYシャツ買いに行く父はなんだか嬉しい様子

東京都 学習院女子高等科 中山 よし乃

父はまた照れて買えない花束を私に頼む結婚記念日

東京都 学習院女子高等科 大畠 絢乃

帰省した姉の纏った香水にイヤなおいと意地悪を言う

東京都 学習院女子高等科 青山 朝海

あと二駅悩みを少し話させて一緒に帰る有楽町線

東京都 学習院女子高等科 平野 えりか

かあさんの昔の写真見つけたら今の私に似てて驚く

東京都 学習院女子高等科 田中 まなみ

私より背の低い母手をとるといくつになっても大きく感じて

東京都 学習院女子高等科 北條 紗里

弟が照れて差し出すストラップ姉のかばんの端っこでゆれる

東京都 学習院女子高等科 中野 美優

毎朝の電車のメンバー何人かいなくなるとき卒業のとき

東京都 学習院女子高等科 山崎 華子

浴衣着て慣れない下駄で小走りに五分遅れの花火大会

東京都 学習院女子高等科 山口 碧

帰るなり制服のまま飛び込んだ枕にうずめる寝たふりの顔

東京都 学習院女子高等科 陳 優樺

汗と涙じつとり染みつく台本に口づけ落とし夏締めくくり

愛知県立中村高等学校 石本 奈緒

母さんとあまり呼ばなくなっただけです心配せずに

和歌山県立星林高等学校 近藤 協汰

朝五時に目覚ましかけて眠っても母の声する四時五十分

和歌山県立星林高等学校 平根 勇

ケンカして目も合わせない私と兄口をそろえて「晩ご飯何？」

和歌山県立星林高等学校 川端 麻央

「もうやめな」彼女は私にそう言った彼女は私の心のブレーキ

和歌山県立星林高等学校 工藤 咲良

「頑張れ」と応援された毎日がそろそろ終る最後の勝負

長野県木曾青峰高等学校 大屋 茉奈

グラブ見てファインプレーを思い出すあしたも頼むと念入れ磨く

長野県木曾青峰高等学校 中島 和輝

ステージに住み着く魔物との戦いタクトの動きに心を合わせて

長野県木曾青峰高等学校 林 良祐

帰り道友と別れたその途端冷たい風が押し寄せてくる

兵庫県立北摂三田高等学校 濱藤 葉子

春風に追われて歩く桜道不規則に揺れる長いスカート

兵庫県立北摂三田高等学校 大竹 風奈

ぽつりぽつり呟く後悔聞かずバカじゃねえのと笑ってくれ君

兵庫県立北摂三田高等学校 影山 真二郎

かざらずに悪い自分も見せられるたった一つの私の家族

東京都 昭和女子大学附属昭和高等学校 青柳 藍

夜遅く下の階から聞こえるがんばった後の父の足音

東京都 昭和女子大学附属昭和高等学校 森 菜月

夏祭り好きなあの子は来てるかな会えても多分話せないんだ

京都府立朱雀高等学校 太田 麻梨菜

電車から見慣れたはずの景色でも歩いてみれば見知らぬ世界

広島県呉工業高等専門学校 藤本 健明

引退が近づき寂しお守りを作る時間のもう最後なり

広島県呉工業高等専門学校 池田 彩也花

「一日に一回話す」達成に誰にも内緒私の目標

広島県呉工業高等専門学校 久保 春乃

空見上げふと立ち止まる帰り道アイス片手に雲を数える

徳島県阿南工業高等専門学校 正本 佳那

好きなもの何と問われて何もなくて人にあわせてウソくりかえす

和歌山県立粉河高等学校 山口 舞優心

文化祭笑って泣いて準備した当日僕は入社試験

和歌山県立粉河高等学校 西本 晴紀

アイデアが一番うかぶ授業中描きしるす先スケッチブック

大阪市立大阪ビジネスフロンティア高等学校 東口 美優

夕刻の窓辺からみる青春がやさしく私に別れを告げる

大阪市立大阪ビジネスフロンティア高等学校 川口 紗季

家族には全く笑わぬ弟の犬には見せる昔の姿

大阪市立大阪ビジネスフロンティア高等学校 松村 帆南海

コンチキチン心地よくひびく音の中小さい歩幅で歩く夏の夜

京都府立嵯峨野高等学校 中安 舞

小さな部屋ふと暗くなりまた戻る阪急電車の通る夏の日

京都府立嵯峨野高等学校 井波 歩美

絶え間なく揺れる人影滑る汗体育館の夏の日常

京都府立嵯峨野高等学校 伊佐 積希

明け方にかすかにもる非常灯やさしさはもうここに来ている

鳥取県立八頭高等学校 中尾 昭貴

その影を照らすな影の濃いなかにそっと入ってゆれているぼく

鳥取県立八頭高等学校 垣田 賢伸

鳴り砂をぎゅっと踏みしめ手を握るふたつならんだでこぼこの影

鳥取県立八頭高等学校 藪田 陽菜

私には携帯なんかいらないう会いたい人には会いに行くから

京都府 大谷高等学校 中村 彩音

九州旅親戚に言われたふとなったな大きくなったなという意味らしい

京都府立南丹高等学校 古賀 琢也

もぎとればずしりと重く力入る祖父の育てし玉蜀黍よ

長野県 高松学園飯田女子高等学校 小林 紘奈

音楽聞く君の横顔見るために朝は七時の電車と決めた

長野県 高松学園飯田女子高等学校 佐々木 優果

母の吹く口笛の音美しく真似する私の音はかすれて

岩手県立盛岡第二高等学校 川村 佳恵

夕焼け空自転車押して帰り道途切れる会話をうめるひぐらし

大阪府立千里高等学校 坂井 良多

やりすぎす耳にイヤホンつつこんでそれでも聞こえる親の小言

大阪府立千里高等学校 桜井 郁

今はまだ直接好きを言えずしてまたねの言葉に気持ちを決める

大阪府立千里高等学校 谷 風花

昨日から降っている雨いつ止むの食器片手に空覗く母

鹿児島県立川辺高等学校 白澤 希

席替えてやつと近くになれたから今日こそ言おう君に「おはよう」

大阪府立東住吉高等学校 平谷 桃佳

紫陽花を見ている君がさみしくて言いたい言葉も傘で隠した

大阪府立東住吉高等学校 竹村 優花

放課後の机に座り先生のものまねしては笑いころげて

埼玉県 筑波大学附属坂戸高等学校 山田 美緑

日曜日選挙に行く友行けぬ僕いつも二人で遊んでいるのに

東京都 早稲田大学高等学院 尾崎 隼大

数学に疎き私のペンを取り君は笑ひて補助線を引く

大阪府 四天王寺高等学校 翁 雨音

いちばんに来た教室で耳すます あのホルンこそ君の朝練

奈良県立奈良高等学校 武村 美子

吹くことはもうないだろう部活後の音楽室で楽器を磨く

山口県 萩光塩学院高等学校 濱本 美由紀

《青春の歌》 中学生 入選作品

折れてまた折れるシャーペンの芯の先方程式を解いていく僕

山口県光市立光井中学校 中田 諒也

ひきだしを開けてひろがるはごみやしきホントにあるの必要なものは

愛知県 梶山女学園中学校 野寄 小遥

風の声ひめいが聞こえ身がふるえおそろしいのはおぼけではなく

愛知県 梶山女学園中学校 大橋 了菜

ろうそくが映し出すのは母の字で小さな頃に戻ったようだ

愛知県 梶山女学園中学校 神戸 柚紀

うるさいなボタンとドアを閉めたのに後悔している 母とのけんか

愛知県 梶山女学園中学校 高田 聖李

顔見れば夫婦漫才繰り広げ祖父母と過ごす笑いの休日

京都市立蜂ヶ岡中学校 岡野 由依

ひとすじの朝日が差し込む家の窓今日という日のスタートライン

栃木県上三川町立上三川中学校 野澤 侑生

いちりんのアスファルトに咲く白い花一点を見つめどこかさみしそう

奈良県香芝市立香芝東中学校 杉本 光

父さんとバス停までの道のりをぬかしぬかれて真剣勝負

東京都 昭和女子大学附属昭和中学校 奥 夏美

妹は 何かやる時 大体は ぬいぐるみをね もち歩いてる

東京都 昭和女子大学附属昭和中学校 今井 響

「楽しいね」ちようちんの下君は言うきれいな君と友達の僕

大阪市立野田中学校 田中 萌希

雨上がり七色なないろの光まぶしくてばからしくなる小さな自分

神戸市立湊翔楠中学校 田中 慧

フラストレーションを吐くために爆発的な絵を描く線がそれを物語る

京都府 京都女子中学校 津山 光海

おしえてと見上げる弟手に余るエンピツ握る小さな手

愛知県岡崎市立竜海中学校 芳村 花菜

夕焼けの空が藍にうつりゆき黒とはちがう闇がひろがる

青森県三沢市立堀口中学校 大滝 望実

発表が苦手なわれが指名されドクンと大きくうごく心臓

青森県三沢市立堀口中学校 相間野 美翔瑠

自転車をぐんぐん踏んで学校へ田んぼの道は夏の匂いす

青森県三沢市立堀口中学校 田代 優衣

暗闇にスマホは光りふしぎなる世界へわれはひきこまれゆく

青森県三沢市立堀口中学校 大澤 優衣

百年も生きつづけいるケヤキの木ひろがる枝は空を抱きいる

青森県三沢市立堀口中学校 中村 咲

オノマトペ見つけて楽しむ午後の授業井上ひさはしんみりユーモア

静岡市立清水第七中学校 野木 智貴

水晶の如き眼をした空蟬の背中の割れ目が勇気をくれる

静岡市立清水第七中学校 井田 猛男

あなたとのほんの短い会話でも記憶にとどめる声も言葉も

静岡市立清水第七中学校 杉本 陸穂

公園のブランコ空に届くよう揺らしてくれた祖父の手のしわ

静岡市立清水第七中学校 高橋 夏海

青空に上げたボールの軌跡追うガットに当たり汗がとび散る

静岡市立清水第七中学校 貝野 龍成

藤村の「初恋」習う教室は誰もがドラマの主役の気分

静岡市立清水第七中学校 大村 真菜果

塾帰り君も今ごろ見ているねひとときわ赤いスーパーマーズ

静岡市立清水第七中学校 鈴木 啓文

「サックス」の言葉がつなぐ君と僕ブルーのタオルと君の楽器と

静岡市立清水第七中学校 久保田 和希

こんなにも因数分解やったからリズムにのってまるつけ進む

静岡市立清水第七中学校 鈴木 理南

暑い夏体育館に集まると虫かごにいる虫のようだ

静岡県浜松市立北部中学校 原田 花琳

もし君と出会えていないとするならば今の自分に出会えていないな

山口県岩国市立川下中学校 貝塚 美来

夜勤の日行って来ますの一言を子守歌とし母出勤す

大阪府 大阪信愛女学院中学校 村田 恵利佳

夏風に洗ったタオル飛ばされて選手のように着地している

東京都 学習院女子中等科 塩野谷 彩香

下校中耳をすますとセミの声「早い！」とつっこみ笑う梅雨どき

東京都 学習院女子中等科 片上 莉彩

夏野菜赤に緑に黄に朱色白のお皿に命がともる

東京都 学習院女子中等科 島本 朝香

モモを読み時間どろぼういないかと早すぎる夏に疑いかける

東京都 学習院女子中等科 李 欣如



見上げれば宙ちゆうをとびかうシャトルたちしたたる汗もぬぐう暇なし

東京都 学習院女子中等科 河野 未実

富士に似たブルーハワイのかき氷世界遺産の頂いただきひとさじ

東京都 学習院女子中等科 駒形 彩葉

あと少しあともう一人抜きたくて加速していく気持ちと手足

奈良県平群町立平群中学校 巽 沙耶

かんきせんゴオーゴオーなってるキッチンに母の汗とともにしたたる油

名古屋市立宝神中学校 尾関 健太郎

まつしろな雲のような予定表雨雲となり土砂降りとなる

大阪市立瓜破中学校 福井 一気

良いコトがあった日はいつもこう思う「空ってこんなに青かったんだ」

大阪府枚方市立蹉跎中学校 高阪 そよ夏

夏祭り二人で食べたりんごあめあの赤色にドキドキしてる

大阪府枚方市立蹉跎中学校 菅野 雄己

先生がとても恐くてだいきらい今日は先生イスをこわした

大阪府枚方市立蹉跎中学校 松下 尚興

友達と雨やどりしたこの場所でいつか見た虹また見れるかな

大阪府枚方市立蹉跎中学校 本木 未桜

塾に行くあいまにスマホ落つことし画面バリバリないてるスマホ

大阪府枚方市立蹉跎中学校 岡澤 大揮

消しゴムでまちがった字を消していく消したくない字先に消えてく

京都府宇治市立広野中学校 浦川 瑞生

目に写る足あとのない銀世界世界で一番きれいな白色

京都府宇治市立広野中学校 柴 澄怜

君だけが私の存在ことを見つけてたそのことだけで世界が光る

奈良県 奈良教育大学附属中学校 朝熊 千華子

冷やかされ嫌われ恨まれ蹴散らされそれでも僕は君に会いたい

兵庫県 灘中学校 施 開人

古い辞書めくる手止まるそのページなぜ蚊よ君はそこに止まった

兵庫県 灘中学校 渡辺 拓海

そわそわと大きな旅行鞆眺めてる海の街まであと八時間

兵庫県加古川市立陵南中学校 長谷川 稜太

見上げた空雲一つない昼の青私の好きな一枚の絵よ

大阪府 大阪聖母女学院中学校 良川 琴奈

「いきます」と言つて曲がつて踏み切つて空へ跳び立つこのときが好き

大阪府吹田市立青山台中学校 臣 和音

友達はそれぞれ違う容姿だがおそろいなのは生えかけの髭

東京都 早稲田大学高等学院中学部 柳生 峻兵

雨あがり道路にできた水溜まり傘閉じ笑う僕らを映す

高松市立古高松中学校 二宮 章

かあさんのギョウザをつつむ手のゆびに家族のみんな思う気持ち

高松市立古高松中学校 住谷 水葵